

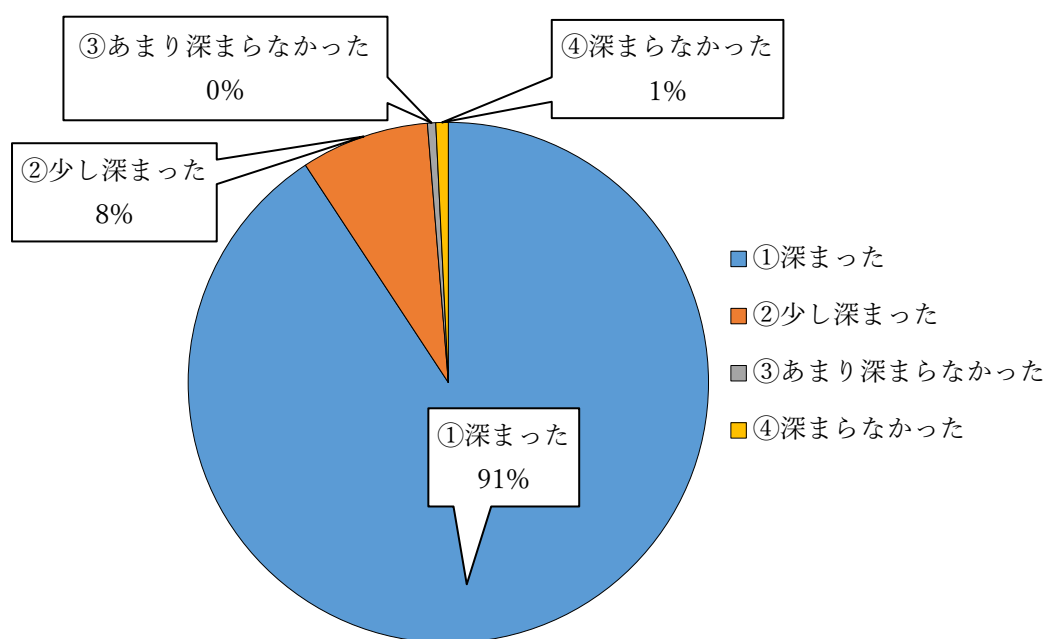
令和5年10月19日(木)に実施した「スケアードストレイト方式の交通安全教室」のアンケート結果について

I アンケートの概要

生徒の交通マナーに関する認知度や交通安全教室で受けた印象・感想などを調査することを目的とした。対象学年は交通安全教室に参加した1・2学年とし、Google Formsでアンケートを実施した。

II 各質問の回答結果 (n = 389)

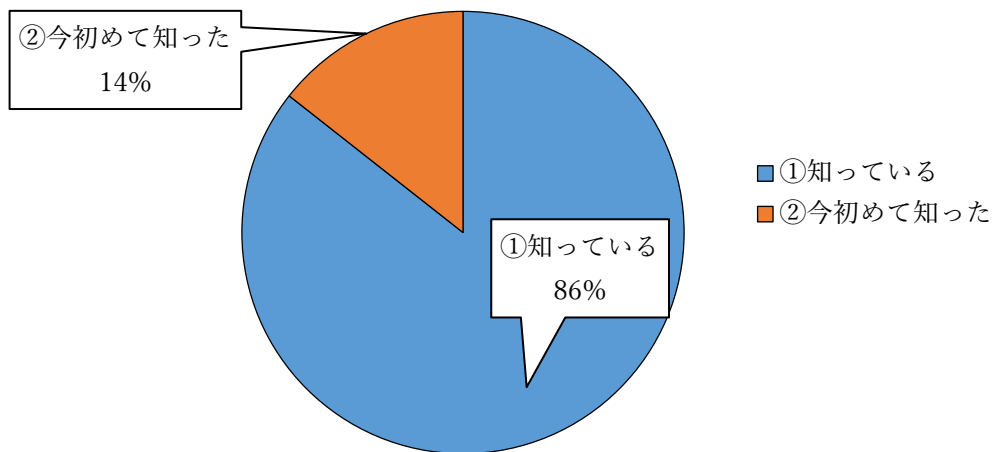
質問項目	回答数	割合
(1)交通安全に対する意識や理解が深まりましたか？		
①深まった	353	91%
②少し深まった	31	8%
③あまり深まらなかった	2	0%
④深まらなかった	3	1%



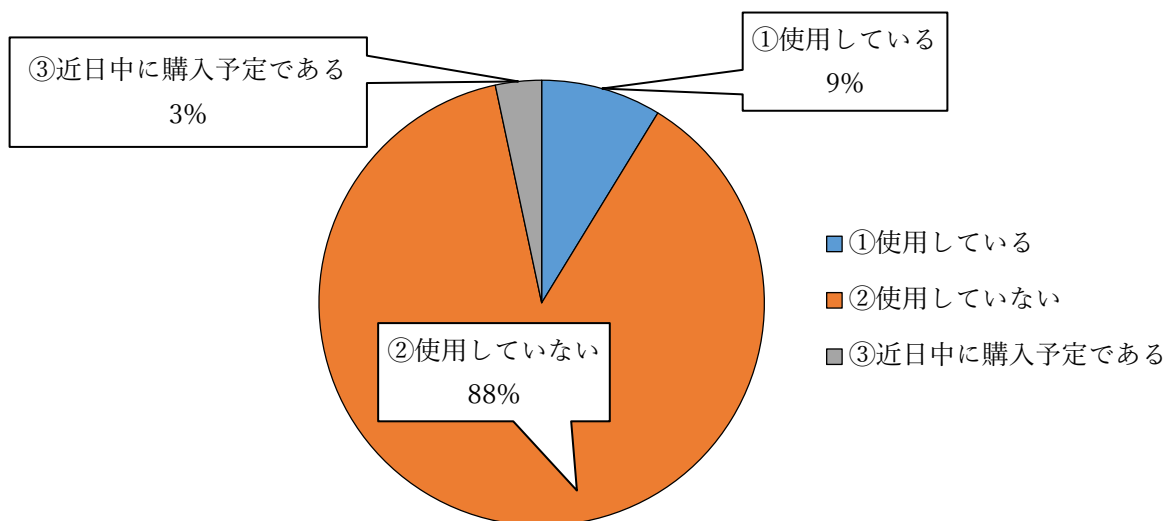
質問項目
(2) (1)の選択肢を選んだ理由を入力してください。(回答一部抜粋)
目の前で起こった事故の衝撃がすごくて気をつけようと思った。
実際に見ることでどんな事になってしまうのかよく分かった。
ルール違反をすることでどのような事態が起こるのか具体的に分かって気をつけようと思った。
私も登下校で自転車に乗るので、気をつける意識が高まったから。
事故が起こった際の出来事とかを再現で見て、どれほどの怪我をしてしまうのかを思い知らされたから。
実際足柄高校近くでこうゆう事故を見たことがあり、関心が湧いた。
事故を実際に見て接触がととても怖いと思ったから。
実際に目の前で交通事故を見てテレビのニュースとかでは見た事があったものでも自分の目で見るとは迫力が違って交通安全をしっかり守らないなと思いました。
小さなルールを守ることで大きな事故を防ぐことができることがわかったから。
実際に事故をしているところを見たことがなかったけど、想像以上に強く当たっていて驚いたから。

質問項目
(3)今回の交通安全教室で一番印象に感じたことはなんですか？感想と合わせて入力してください。(回答一部抜粋)
自転車1つでもいろいろな事故の起こり方をすることが分かった。人の命や人生に関わる事だからこれからも事故には気をつけていきたい。
事故の危険性とそれを伝えるスタントマンの凄さを実感しました。
自転車だから平気とか思っていたけど、自転車も車両と同じということが前より認識出来ました。自分の不注意で恐ろしい事件が起きてしまう可能性があるということを頭に入れておきたいです。
自転車と車が衝突するところが1番印象に残った。普段あまり自転車に乗らないけど交通ルールを守って安全に改めてしていきたいと思った。
少しのルール違反をしている人達が一気に事故になるところが印象的だった。あれが実際に起きると思うと怖いなと思った。
ベビーカーでの事故で実際に赤ちゃんが死んでしまったと言っていてすごく怖いと思った。
自転車同士の事故が印象強かった。自転車は高校生でも頻繁に使うから日頃からの意識が大切だと思った。
自転車が時速40kmで追突されるシーンで、自分があの自転車に乗っていたら間違いなく死んでいたと思ったので後ろにも気を配るように心がける。
最後の交通事故の演技が本当かと思ってびっくりした。ほんとに怪我してなくて良かったと思った。
勢いよく、自転車と車がぶつかったときに自転車に乗っていた人が車のボンネットにまで飛ばされていたところを見て、恐怖を感じました。
自転車とベビーカーが接触した事故が1番印象に残りました。車はまだ運転してないけど、自転車は乗っているからちゃんと周りを見て乗るべきだなと思った。

質問項目	回答数	割合
(4)令和5年4月から、自転車乗車の際には【ヘルメットの着用が義務化（着用しなければいけない）】されたことを知っていますか？		
①知っている	333	86%
②今初めて知った	56	14%



質問項目	回答数	割合
(5)現在、通学している時や、日常生活で自転車に乗車する際、ヘルメットを使用していますか？		
①使用している	34	9%
②使用していない	342	88%
③近日中に購入予定である	13	3%



実施時の様子



Ⅲ 各回答結果を踏まえての今後の方針

今回のスケアードストレイト方式の交通安全教室の実施により、自転車を利用して登校している生徒のみならず、徒歩で登校している生徒に対しても、交通ルールやマナーを順守する重要性を実感することができる有意義な機会となった。生徒が印象に残った場面は、前述のアンケート回答でも分かるように様々な場面に対して挙げられたが、共通して「交通マナーを守ることが自身と他者を守る」ことにつながるということを理解できたと考えられる。

改正道路交通法の施行によりヘルメットの着用が努力義務になったことは、施行から半年を過ぎた現在で約8割程度の認知度となっており、大半の生徒が改正を認識していた。一方、通学や日常生活でヘルメットを着用している割合は、「使用している」「近日購入予定である」の値を合わせても、約1割程度にとどまっていることが判明した。

今後は、今回の交通安全教室を踏まえ、引き続き交通安全への意識を高めさせるとともに、命を守るためのヘルメットの着用を継続して指導していきたい。